

9 DX推進員等に加え変革プロジェクトやDX人材認定制度の創設【栃木県真岡市】



- 庁内全課で係長級から専任した「DX推進員」等により全庁的な意識改革を実施
- 希望者による「自主的な業務改善組織への変革プロジェクト」の実施やDX人材認定制度の創設によるDX人材の育成

事業の概要

- DX推進員による活動と並行して「自主的な業務改善組織への変革プロジェクト」を実施。希望者により**BPR手法の勉強会や、実際の業務改革案を企画するワークショップ**を実施。チームに分かれ、それぞれの改革案を、市長以下全職員にプレゼンテーションを実施（リアル、オンライン併用）。
- **プロジェクトに参加しBPRに取り組んだ職員を、DX人材に認定**（令和4年度創設）。

業務改革案報告会



人材育成目標

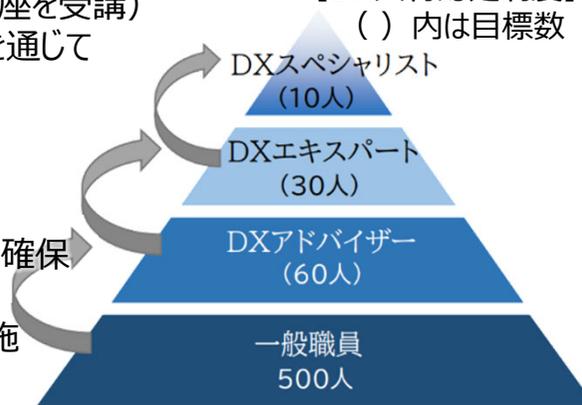
- ・ 業務知識やシステムの操作・運用スキルがある。
- ・ 課題解決のスキルがある。
- ・ 日々進化するデジタル技術等を学び続ける意欲がある。
- ・ 自らの業務をよりよいものに変革していく意欲がある。
- ・ 前例にとらわれず変革による新しい価値を創出する意欲がある。

- ・ 全職員に対してDX研修を実施（動画等による講座を受講）
- ・ 実践的な業務改革研修参加者を募集し、研修を通じて業務改革案を企画・提案
- ・ 業務改革案を評価しDXアドバイザーとして認定

To be(あるべき姿)

- ・ DX人材のための研修を開催し、目標数の認定者確保
- ・ 全職員がデジタル基礎研修の受講
- ・ ICTスキルの習得を目的とした研修(年2回)の実施
- ・ 幹部、全職員を対象としたセキュリティ研修の実施

【DX人材認定制度】
()内は目標数



9 DX推進員等に加え変革プロジェクトやDX人材認定制度の創設【栃木県真岡市】



(総務省)

「自主的な業務改善組織への変革プロジェクト」における各チームの企画・取組内容について教えてください。

- ①内部事務変革チーム：決算資料作成の業務フローの描き直しとマクロを活用した監査資料作成の効率化 等
- ②外部連携チーム：工事事業者とのやり取りに情報共有システムを導入した書類の処理状況の可視化 等
- ③窓口改善チーム：書かない窓口やRPAに固執せず、結果通知の早期化など業務フローの描きなおし 等



(真岡市)



変革プロジェクトのきっかけを教えてください。

令和4年度から本格的にDXの取組を行うに当たり、DX推進員とは別にトップランナーとなる人材育成が必須であると考えました。

そこで、所属や職階に関わらず「DXをしたい」というマインドを持った職員で、スキルはあるが現場で十分な能力を発揮できていない、やる気はあるがやり方が分からない職員に対し、**学習機会の提供、活躍の場を用意**という観点で**実践的な人材育成研修としてプロジェクトを企画**しました。



職員育成の工夫点を教えてください。

DX推進員、DX協力員によるワークショップ等による**全庁的な意識の底上げ**を行いつつ、プロジェクトメンバーを**トップランナーとして育成**することで**庁内を引っ張っていく**というイメージで取り組んでいます。



今後の展望を教えてください。

令和4年にDX人材認制度を創設しました。認定制度は、**プロジェクトに参加しBPRを行い、活動内容の評価によりDX人材認定**することとしています。

令和5年度は、プロジェクトメンバー数を増やす（12名→20名）とともに、**UXデザイン等を取り入れ市民ニーズに沿ったサービスが提案できることを目指**しています。



☆担当：真岡市 デジタル戦略課 ☆

【参考情報】 真岡市人口：8.0万人

関連URL：真岡市DX戦略計画 (https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/digital_senryaku/gyomu/seisaku_keikaku/index.html)

受賞歴等：日経自治体DXアワード「デジタル人材育成部門賞」受賞